

20001 発達心理学 Developmental Psychology		1 年次～ 通年 4 単位	
担当者	江尻 桂子	履修可能学科	W F N
		関連資格	教職・心理(W) 教職(F)
サブタイトル	胎児期から老年期までの心の発達と諸問題		
授業内容 ・ ねらい	この授業では、人のからだや心が、一生を通してどのようにして発達してゆくのかを学びます。胎児期から始まり、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期について概説します。とくに乳幼児期については、言語・認知発達、社会性の発達、個性の発達、また、親子関係や愛着関係、育児不安、虐待問題など、様々な観点から学びます。さらに、発達障害や、発達のなかで出あうさまざまな課題についても学びます。老年期については身体的変化、心理的变化について丁寧に学びます。これらの学びを通して、皆さんが将来、社会に出て子どもと接したり、障害や病気をもつ人と接したり、また、自分自身が育児や介護の担い手になったときに、発達心理学的な視点をもつことができるようになることが目標です。授業のあとに、感想や意見を書いて提出していただきます。試験に際しては、十分な準備が必要となります。レポートや発表会なども予定していますので、授業への積極的な参加を期待します。		
授業計画	前期： 第1回：ガイダンス 第2～3回：生物進化のなかでのヒト 第4～5回：遺伝と環境 第6～7回：胎児・新生児期の発達 第8～10回：乳幼児の発達 第11～13回：児童期の発達 第14回～第15回：まとめ	後期： 第1回：ガイダンス 第2～4回：発達障害、ことばの障害 第5～6回：児童期の課題 第7～8回：思春期・青年期の課題 第9～10回：成人期の課題 第11～13回：老年期の心身の変化 第14～15回：ヒトの発達とは、総まとめ	
教科書 参考書	教科書・参考書は、授業中に適宜紹介します。		
評価方法	1)出席回数 2)授業態度 3)授業内容に対するコメント、4)期末試験、レポートなどにより総合的に評価します。通年の授業ですが、前期に三分の一以上(5回以上)、または後期に三分の一以上(5回以上)、欠席した場合は、基本的には試験を受験することを認めません。		
事前準備学習 履修条件等	「心理学」を履修済みまたは履修中であることが望ましい(ただしW科の場合)。授業中の私語、携帯メール、音楽を聴く、飲食など、他の受講生に迷惑をかける行為やマナー違反と考えられる行為は控えてください。受講生多数の場合は抽選により人数調整することがあります。この授業では座席を指定します。		